

要請番号 (JL42425B18)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|------|----------|------|------|----|------|--|
| ヨルダン | G130 柔道 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・ 2026/1 ・ 2026/2 ・ 2026/3 ・ 2027/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

ヨルダンパラリンピック委員会

2) 配属機関名 (日本語)

ヨルダンパラリンピック委員会

3) 任地 (アンマン) JICA事務所の所在地 (アンマン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はヨルダン王室からの支援を受け1981年にヨルダン障害者スポーツ連盟として設立。あらゆる年齢層の障害者に対するスポーツ振興に寄与している。現在、150人の競技者が登録されている。委員会の理事は5名。年間予算は60万米ドル。卓球や重量挙げ、陸上競技ではパラリンピックに代表選手を送り、メダルを獲得するほどの成績をあげているが、視覚障害者柔道に関しては、まだ、そのレベルに至っていない。通常はアンマン市中心部のスポーツシティ内にある武道場での活動を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は視覚障害者柔道の普及を望んでいる。現在は、国際大会を目指すレベルではなく、ひとりでも多くの障害者に柔道の魅力を感じてもらい、参加者を増やしていきたいと考えている段階である。指導にあたっているスタッフは健常者で、国際審判員の有資格者であり、北京オリンピックに審判員として参加経験がある。しかしながら、視覚障害者柔道に関する経験は乏しく、手探り状態で稽古にあたっている。利用者の需要に応えるためにも適切で安全な環境を整え、試合形式も含めた総合的な稽古ができるようにしたいと考え、視覚障害者柔道に詳しい協力隊派遣要請が出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同僚指導者に対する視覚障害者柔道の知見共有
- 利用者の視覚障害者柔道愛好家に対する直接指導
- 稽古場や指導方法に関する助言

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道用の畳

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:40代 男性 柔道6段

活動対象者:大学生(18-22歳)、一般(15歳-20歳)

5) 活動使用言語

アラビア語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（柔道三段）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：現地習慣のため

[経験]：（指導経験）3年以上 備考：指導者への指導が求められるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（0～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

アスリート強化ではなく、愛好者への普及を目指しており、競技者としての成績は求めている。現役選手である必要はなく、視覚障害者柔道に関するノウハウの共有が期待されている。

【類似職種】